

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌菊水校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			法令を厳守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			法令で定められている配置数を厳守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4		療育室内は、段差がなくバリアフリー化されています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1		週・月毎に MTG を実施。目標設定 振り返り 再実施を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者向け評価表の記入にご協力頂き保護者等の意向の把握し、業務の改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		事業所内のホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3		利用者様・事業所内での評価を行っています。第 3 者による外部評価の実施は現在行っておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			初任者研修年 1 回実施。2 か月ごとに社内研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			適宜 保護者様と子どもの情報を共有し、職員間で周知した上で、子どものニーズに沿った児童発達支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			NC プログラム・SDQ 等のアセスメントツールを社内で統一して使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		適宜 モニタリング会議・MTG を実施し、子どものニーズに合わせて必要な支援を選択 具体的な活動プログラムを立案・実施しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		月毎に、イベントを行い子どもの楽しみを作れるよう配慮しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		子どもの課題に応じて、小集団・個別療育・イベントを適宜実施し適切な支援をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	1	子どもの状況に応じて、適宜 モニタリング会議 MTG を実施し、小集団・個別療育を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		朝礼を実施し、支援の方法 職員の役割分担を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		終礼を実施し、支援の振り返り、子どもの変化等の振り返りを報告し、職員間の共有を図っています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			支援ごとに記録を作成し、個人のファイルに管理しています。適宜 MTGを行い、子どもへのきめ細かい支援につながるよう努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		6か月ごとに、モニタリング会議を実施し、放課後等サービス計画の見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	1		ガイドラインの総則に示されている基本活動の中から、小集団・個別療育を中心に支援しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		担当指導員・児童発達管理責任者が参画できるよう努めています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		学校への電話連絡や時間割・年間行事予定表を共有し密に連携を図っています。また、送迎時のトラブルにはマニュアルを作成し、事業所内で周知・徹底しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4		現在、該当児童がおりませんが、該当児童が利用された場合は、子どもの主治医・保護者様と連携し密に連絡を取る対応をします。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3		就学前に、幼稚園・保育所等と連携し、情報共有に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		現在までに該当児童はいませんが、児童が障害福祉サービス事業所へ移行する場合は連携させていただきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		必要時応じて、外部の専門家を招き研修を行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	1	支援時間内での交流が難しいため行っておりません。今後イベント等を通して、他児童との交流ができるよう努めていきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		5		参加できるよう努めています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			保護者面談等で子どもたちの発達状況・課題について共通理解を図っています。
保護者への	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2		教室内に講習会等の情報を掲示させて頂いております。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に、運営規定の説明を保護者様に行ってお理解いただいております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者面談時に、ご相談に対応させて頂いております。また、適切な助言・支援をご提案できるよう努めております。他サービスの情報・発達支援クリニック・研修のご案内を発信しています。

説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	1	年間に1度程度開催を予定しています。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			事業所内に相談窓口・行政機関窓口を掲示しています。また、頂いた苦情には迅速に対応しています。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			月に一度、通信を配布し、行事予定を周知しています。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報は、施錠し厳重に管理しています。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			必要に応じて対応しております。
非常時等の対応	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		今後、検討していきます。
	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			各マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知を図っています。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			防災会議を月に1度、避難訓練を年1度行い、通信で保護者様に周知しています。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		社内研修を行い、職員に周知する共に、マニュアルに従って行動するように努めています。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			保護者様に十分な説明を行ったうえで、放課後等デイサービス記録の特記事項に記載します。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		子どものアレルギーに関するアンケートを行い、子どものアレルギーの有無を確認し、職員間で周知しています。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハット報告書を作成し、保管。職員間で MTG を実施し共有 改善に努めています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2021年2月6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌菊水校 保護者等数（児童数：34 回収数：19 割合：55 %）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19			・ご意見を表記しています。 ◎ 対応を表記しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		・担当の先生が数回変わっているため、安定させてほしい。 ◎法令で定められている配置数を厳守しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	11	1	・ビル側の都合ですが、ゴミ捨て場横の床が冬は滑ります。 ・そうゆう視点で見えていなかったため、分かりません。 ◎教室内は、段差がなくバリアフリーの環境になっています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	19			
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	19			
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	10	・その様な場所であると承知の上での通所です。 ・不要だと思う。 ◎新型コロナウイルス感染症予防の為、実施していません。今後、コロナウイルス終息後、交流の機会を検討していきます。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1		◎契約時に、運営規定・重要事項説明書の説明を保護者様に行って、ご理解・了承いただいております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1		◎ 支援後や送迎時 保護者様に本日の支援の振り返りをお伝えさせて頂いております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	6		◎保護者面談時に、ご相談に対応させて頂いております。また、適切な助言・支援をご提案させて頂いております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7	10	・コロナの為仕方ないと思います。 ・不要だと思う。 ◎年間に1度 保護者会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため今年度の実施できませんでした。新型コロナウイルス終息後 実施の検討をしています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	3		・対応していないというわけではなく、分からないということです。 ◎事業所内に相談窓口・行政機関窓口を掲示しています。また、頂いた苦情には迅速に対応しています。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1		◎月に一度、通信を配布し、行事予定を周知しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18	1		◎個人情報は、施錠し厳重に管理しています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	1		◎各マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知を図っています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	8	2	◎防災会議を月に1度、避難訓練を年1度行い、通信で保護者様に周知しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1		・飽きずに楽しんで勉強できてうれしいようです。 ◎遊びを児童に選んでもらい、楽しく過ごせるよう配慮しています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	19			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。